

当校のプログラムは、「ヤックス自然学校・自然体験活動実施における 新型コロナウイルス対応ガイドライン」に基づき、感染症対策を講じて実施させていただきます。以下に記載の対策については、ガイドラインから一部抜粋した内容となります。

※今後、国や各自治体等の動向により、内容の変更を検討するものとします。

- ①身体的距離の確保
- ②メリハリのあるマスクの着脱
- ③手洗いの実施
- ④1日に朝晩2回の健康観察(検温)



を中心として取り組み、活動中の感染リスクを最大限に下げ、活動を実施します。

【実施前】

- お子様の体調管理・健康観察をお願いします。
- ご家庭でも手洗い、うがい、メリハリのあるマスク着脱（咳エチケット）のご指導をお願いします。
- 実施3日前に担当リーダーより電話連絡を実施しています。
→体調の把握をさせていただきます。
体調不良の場合は、ご参加を控えてください。



参加にあたってのお願い

キャンプ出発10日前からご自宅で健康観察を開始し、以下の場合はかかりつけ医にご相談の上、参加をご検討ください。合わせて、事務局にも状況をお知らせください。

- ・本人、家族に感染症（新型コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ等）の疑いがある。
- ・キャンプ期間中に体調不良が原因で活動に支障をきたす。

【実施中】

体調不良時は

高熱、ひどい咳き込み、極度の倦怠感や嘔吐等の症状が確認された場合には、部屋を隔離して看護します。保護者に状況を報告し、お出迎えを自費でお願いする場合があります。必要に応じて医療機関への搬送、加療を行います。

また、現地での抗原検査費や医療機関に掛かるような時にはその経費（交通費、検査費等）の実費のご負担をお願いする場合があります。

マスク着用について

マスクの着用は、個人の判断に委ねることになりますが、プログラム中に利用する施設でマスクの着用が求められる等、場面にに応じてマスクを着用することがありますので、マスクは必ずご持参ください。

健康観察について

1日2回の検温（健康観察）を実施。定期的な検温実施と活動中もキャンプリーダーは、子どもを「見て」「聞いて」等、コミュニケーションを取りながら健康と心の安全に努めています。

シーン毎の感染症予防策

●集合解散時

受付時には、体調と当日朝の体温をお伺いします。

●移動時

(バス移動)

- ・手指消毒の実施。
- ・メリハリのあるマスク着脱。
- ・大声での発声はしない。
- ・固定席。
- ・おやつタイムはしない等。

※健康管理をされた参加者・スタッフの集まりで、貸切バスを利用しての移動です。
また、バスの換気性能に鑑みれば、エアコンによる外気導入で十分に空気の入替えが可能です。

(電車移動)

- ・混雑時間などを配慮し、マスクを着用し分散乗車。
- ・利用後は手指消毒の実施。

●食事、調理時

- ・食事前後の手洗い（消毒）。
- ・会話を控えて、食事の味を楽しむ。
- ・大皿盛りはしないで個別配膳が基本。
- ・プログラムでの調理時はマスク着用。メニューは加熱調理をするもので行う。
- ・給水ジャグ利用時は、コップの使いまわしはしない。
※施設利用時は、施設の基準に準ずる。



●入浴時

- ・密回避のために一度に利用する人数を調整し、タイムスケジュールを管理する。

●部屋（屋内）では

- ・定期的な換気（2箇所以上の通気をして風通しのよい状態を確保）。
- ・場に応じたマスク着用（密を回避できない場合）。

【実施後】

帰宅後2日以内にお子様に体調不良等がありましたら、事務局へ連絡してください。